

第3次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	22	青少年の育成
担当課	生涯学習課	

目指す姿	健全な青少年の育成に向け、家庭・学校・地域が連携して地域ぐるみの安全・安心な環境を目指します。
------	---

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・社会環境の変化を踏まえ、青少年の健全育成を推進する活動団体を支援・育成し、連携を強化することで青少年に対する市民意識の高揚を図ってきました。 ・市民団体の活動のほか、市民ボランティアによる青少年の見守りなどの活動も継続して行っています。 ・活動内容の更なる充実とその体制づくりを進める必要があります。			
課題		・生活様式の変化や、市の人口の減少と高齢化により、市民ボランティアの担い手や活動団体を構成する市民などの減少が懸念されています。 ・青少年の安全を第一に考え、担い手の確保の強化に取り組むとともに、地域・学校・家庭及び団体が連携する環境づくりを推進していくことが必要です。 ・青少年の健全な育成を目指すため、青少年を取り巻く地域や家庭の教育力向上を図ります。			
取組方針	1	青少年を見守るため、地域、学校、家庭及び団体と連携します			
	2	青少年の安全を守るため、健全な育成を目指し、活動団体とともに環境づくりを進めます			
	3	健全で明るい家庭づくりを支援するため、地域や家庭の教育力向上を図ります			
成果指標					
1)成果指標	児童生徒と子ども安全ボランティアの比率	指標単位		%	
		現状値	R7 年	49	
		目標値	R13 年	50	
2)成果指標	「青少年の健全育成に協力する店」の登録件数	指標単位		件	
		現状値	R7 年	269	
		目標値	R13 年	270	
3)成果指標	青少年相談員による街頭指導数	指標単位		回/年	
		現状値	R7 年	193	
		目標値	R13 年	200	
主な取組					
主な取組①		青少年相談員による街頭指導などの実施			
主な取組②		青少年を見守る体制の維持			
主な取組③		家庭教育学級の実施			
主な取組④		「青少年センター」の運用			
主な取組⑤		青少年育成団体の支援・育成			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	23	生涯学習の充実
担当課	生涯学習課	
	しもだて地域交流センター　生涯学習センター　明野コミュニティセンター　協和コミュニティセンター	

目指す姿	関係機関・施設との連携を強化し、市民の学習意欲と多様な需要に応えることを目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・市民の学習意欲に応えるため、市民大学やコミュニティセンターでのカルチャー講座など、様々な学習機会を設けました。 ・図書館では指定管理者制度を活用し、学習機会の創出に努めました。 ・市民の価値観やライフスタイルの多様化に伴い、学習に求めるものも多種多様となっており、参加者は伸び悩んでいます。 ・市民のニーズに応える学習活動を支援する必要があります。			
課題		・市民の価値観やライフスタイルの多様化により、従来どおりの学習支援では今後も参加者数の減少が懸念されます。 ・市民が生涯にわたって積極的に学ぶ意欲を持ち、大きな満足度を感じることができるよう、市民のニーズにあった学習機会を充実させ、支援の環境を整え、生涯学習にかかわる情報の周知を進める必要があります。			
取組方針	1	市民の学習意欲を高めるため、市民のニーズに応じた学習機会の充実と生涯学習を推進する環境づくりを進めます			
	2	地域における生涯学習の場として、コミュニティセンターの活用を図ります			
	3	学びと交流の拠点として、図書館機能の充実を図ります			
成果指標					
1)成果指標	市民大学参加者数	指標単位		人/年	
		現状値	R7 年	60	
		目標値	R13 年	80	
2)成果指標	カルチャー講座の参加者数	指標単位		人/年	
		現状値	R7 年	4,410	
		目標値	R13 年	5,000	
3)成果指標	図書館の貸し出しカード・電子図書館ID発行数	指標単位		件	
		現状値	R7 年	65,162	
		目標値	R13 年	83,000	
主な取組					
主な取組①		市民大学の開講			
主な取組②		生涯学習単位認定証の発行			
主な取組③		カルチャー講座の開催			
主な取組④		図書館を活用した交流イベントの開催			
主な取組⑤		生涯学習施設の適切な維持管理と利用促進			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	24	産業の振興
担当課	産業戦略課	
	企業誘致推進課 商工観光課 農政課 水田農業振興課 ふるさと整備課 農地調整課	

目指す姿	豊富な地域資源と強固な産業基盤を生かした次世代の担い手や企業が挑戦し続けられる環境を構築します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案			
現状		・豊かな自然環境を背景とした特色ある農業が盛んであるとともに、茨城県西地域における工業の中心地としての強固な基盤を持っています。 ・交通の利便性や商工団体などの取組が、これまで多くの企業活動を支えてきました。 ・持続可能な産業振興や雇用創出に向けたスマート農業の導入、オーガニック農業の推進、6次産業化などに加え、地域商社を活用した販路拡大やブランド化などの取組が進められています。			
課題		・少子高齢化や後継者不足、消費の市外流出など様々な課題が山積しています。 ・農業分野では、担い手の確保・育成、農地集約や先進技術の導入による効率化、生産基盤の保全整備が求められています。 ・商工分野では、事業承継や技術伝承の支援、創業支援の強化が不可欠です。 ・地域経済の活力を維持するため、新たな産業用地の確保を伴う積極的な企業誘致や、既存企業の流出防止を図ることが必要です。			
取組方針	1	官民連携体制の構築やふるさと納税制度の活用などによって地域産品活性化を推進します			
	2	新規企業誘致及び既存企業の支援を推進します			
	3	商工会議所・商工会などとの連携により、商工業者の支援を図ります			
	4	生産性向上と農地の多面的機能の維持を両立させ、持続可能な農業の振興を図ります			
	5	農産物の付加価値を高めるため、オーガニック農業を推進します			
成果指標（8指標程度）					
1)成果指標	ふるさと納税寄附件数	指標単位		件/年	
		現状値	R7 年	41,571	
		目標値	R13 年	75,000	
2)成果指標	新規企業立地促進奨励金交付企業数	指標単位		件	
		現状値	R7 年	8	
		目標値	R13 年	15	
3)成果指標	創業者支援数	指標単位		件	
		現状値	R7 年	305	
		目標値	R13 年	405	
4)成果指標	空き店舗活用件数	指標単位		件	
		現状値	R7 年	55	
		目標値	R13 年	80	
5)成果指標	市の農業産出額	指標単位		億円/年	
		現状値	R5 年	185	
		目標値	R11 年	190	
6)成果指標	オーガニック農業実施面積	指標単位		ha	
		現状値	R7 年	42	
		目標値	R13 年	45	
7)成果指標	担い手への農地集積率	指標単位		%	
		現状値	R7 年	65.6	
		目標値	R13 年	68	
8)成果指標	新規就農者の人数	指標単位		名	
		現状値	R6 年	12	
		目標値	R12 年	50	
主な取組（10指標程度）					
主な取組①		地域商社の活用			
主な取組②		ふるさと納税制度の活用			
主な取組③		企業立地促進奨励金の交付			
主な取組④		新規工業団地の造成			
主な取組⑤		創業支援など及び空き店舗活用支援			
主な取組⑥		地元企業への就労支援			
主な取組⑦		農業の担い手確保及び育成			
主な取組⑧		オーガニック農業の推進			
主な取組⑨		農地集積・集約化などの農業生産基盤整備			
主な取組⑩		農業・農村の有する多面的機能の維持			

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標		いつまでも安心なまち		
施策		25	観光の振興・シティプロモーション	
担当課		商工観光課		
		広報広聴戦略課 道の駅拡張整備推進課		
目指す姿		地域の魅力を国内外へ戦略的に発信し、多くの人に訪れたいと選んでもらえるまちを目指します。		
項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案		
現状		・市民などで構成する「ちくせいシティプロモーションプロジェクト会議」などを通じ、シビックプライドの醸成を常に図っています。 ・観光ニーズが「モノ」から「コト」へ移行し、体験・滞在型が主流になりつつあることから、観光協会などと連携した「四大まつり」や「ちくせい花火大会」では新たなコンテンツを展開し、ブラッシュアップするとともに、SNSなどによる戦略的な情報発信を推進し、交流人口及び関係人口の拡大に取り組んでいます。		
課題		・首都圏からの良好なアクセスや豊富な地域資源を有するものの、認知度不足によりその潜在能力を十分に活用できておらず、戦略的な情報発信の強化が急務です。 ・「四大まつり」や「ちくせい花火大会」、「道の駅」は高い集客力を誇りますが、季節性の偏りや資源の点在による周遊性の低さから、通過型観光に留まる傾向があります。 ・多様化するニーズに対応した独自の体験や付加価値を創出し、滞在時間の延長とリピーター獲得を図る仕組みづくりが課題です。		
取組方針	1	本市最大のゲートウェイとなっている道の駅から点在する資源をつなぐ周遊ルートを整備し、季節を問わない本市独自の体験プログラムを展開します		
	2	二次交通の整備や多言語対応を進め、首都圏からの好アクセスを生かした外国人観光客の周遊・滞在を促進します		
	3	SNSを活用した戦略的な情報発信により、地域の魅力を国内外へ効果的に伝え、シビックプライドの醸成を図ります		
成果指標				
1)成果指標	観光客入込客数	指標単位		人/年
		現状値	R7 年	711,000
		目標値	R13 年	800,000
2)成果指標	道の駅年間来場者数	指標単位		人/年
		現状値	R7 年	1,200,000
		目標値	R13 年	1,300,000
3)成果指標	SNSの総インプレッション数	指標単位		件
		現状値	R7 年	5,447,699
		目標値	R13 年	5,600,000
主な取組				
主な取組①		各種イベントの戦略的なPR		
主な取組②		道の駅を拠点とした周遊導線の構築		
主な取組③		地域資源の発掘及びブラッシュアップ		
主な取組④		インバウンド対応		
主な取組⑤		シビックプライドにつなぐSNSを活用した情報発信		

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標		いつまでも安心なまち					
施策		26	移住・定住の促進				
担当課		政策企画課					
目指す姿		都心との近さを生かした二地域居住と、豊かな自然の中でゆとりある暮らしを推進し、多世代が輝く活気あるまちを目指します。					
項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案					
現状		・これまで子育て支援を推進してきましたが、若年層の流出は依然として深刻な課題となっています。 ・多様な暮らしへのニーズが高まるなか、既存施策を継続するとともに、本市の平坦な地形や都心への近さを生かしたアクティブシニア層の移住や二地域居住の促進が急務です。 ・これらの人々を新たな活力として取り込み、関係人口を拡大させ多世代が共生する仕組みを構築できるよう取り組んでいます。					
課題		・アクティブシニア層や二地域居住希望者に対し、本市が選ばれるための「動機付け」と「関係構築」が課題となっています。 ・既存の地域資源を生かした体験プログラムの提供や、来訪者が地域住民と円滑に交流できるソフト面の支援が求められるだけでなく、多様な生き方を受け入れ、新たな活力を地域維持に繋げるための体制整備が不可欠となっています。					
取組方針	1	子育て支援などの既存施策を堅持しつつ、多様なライフスタイルを尊重した支援を行い、現役世代の居住継続を図ります					
	2	「ほどよい近さ」を強みに、二地域居住やリタイア後の生活をお試し体験できるプログラムと情報発信を進めます					
	3	農産物や伝統文化などの地域資源を活用し、来訪者と住民が日常的に交わることができる環境づくりを進めます					
	4	地域課題の解決につなげるため、地域おこし協力隊をはじめとする外部人材を柔軟に受け入れる体制づくりを進めます					
成果指標							
1)成果指標		移住イベントの参加組数			指標単位		組/年
					現状値	R7 年	30
					目標値	R13 年	100
2)成果指標		イベント参加者の「ふるさと住民登録」への登録率			指標単位		%
					現状値	R7 年	0
					目標値	R13 年	50
3)成果指標		アクティブシニア層（65～74歳）の転入者数			指標単位		人/年
					現状値	R6 年	71
					目標値	R12 年	96
4)成果指標		子育て世代の移住支援金交付数			指標単位		件
					現状値	R7 年	2
					目標値	R13 年	4
主な取組							
主な取組①		転入前・転入後の切れ目のない支援					
主な取組②		移住定住情報の発信					
主な取組③		暮らしを体験できる場の提供					
主な取組④		「ふるさと住民制度」の運用					
主な取組⑤		移住者と地域の関係構築支援					
主な取組⑥		地域おこし協力隊の活用					

第3次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	27	歴史・文化・芸術の振興
担当課	文化スポーツ課	
	しもだて美術館	

目指す姿	歴史・文化・芸術を振興することで郷土愛の醸成に寄与し、交流人口の増加を目指します。
------	---

項目	第3次筑西市総合計画 基本計画案	
現状	・多くの指定文化財、登録文化財が所在し、それらの調査・保存・継承に努めています。 ・指定を受けていない文化財の多くは管理が行き届いていないため、多くの歴史文化遺産が失われていく懸念があります。 ・「しもだて美術館」及び「板谷波山記念館」の来館者の多くが50代以上であり、来館者からは本市ゆかりの芸術家や現代美術をテーマとした展覧会の要望が多くありますが、施設などの老朽化によって安定的な運営が阻害される現状にあります。	
課題	・郷土の歴史を後世に伝えるためには、歴史資料を適切に保管し、発信する施設が必要不可欠ですが、十分な管理施設がなく、資料が散在しており、活用を進められない状態にあります。 ・しもだて美術館及び板谷波山記念館においては、若い世代を対象とした芸術文化に関する啓蒙活動の推進と施設設備の計画的な整備・修繕が課題として整理されます。 ・所蔵品管理や来館者の安全確保の観点から、修繕による空調機能の安定化が求められています。	
取組方針	1	郷土の歴史を伝承するため、歴史文化遺産の収集・整理・研究を進めます
	2	歴史・文化芸術への関心や郷土愛の醸成を図るため、資料・作品の保存・展示をすることができる場と機会を提供します
	3	優れた芸術作品である所蔵品を後世に引き継ぐため、計画的な施設設備の整備・修繕の検討を進めます
	4	文化芸術・学術の振興のため、市民によるこれらの活動について発表することができる機会を提供します

成果指標				
1)成果指標	指定文化財及び国登録文化財の件数	指標単位		件
		現状値	R7 年	161
		目標値	R13 年	165
2)成果指標	歴史資料企画展示の実施件数	指標単位		回/年
		現状値	R7 年	3
		目標値	R13 年	3
3)成果指標	しもだて美術館及び板谷波山記念館への入館者数	指標単位		人/年
		現状値	R7 年	17,992
		目標値	R13 年	25,000
4)成果指標	しもだて美術館企画展の開催数	指標単位		回/年
		現状値	R7 年	5
		目標値	R13 年	5

主な取組	
主な取組①	文化財の保存・継承
主な取組②	郷土資料館の整備検討
主な取組③	しもだて美術館と小中学校図工美術担当教諭の連携
主な取組④	しもだて美術館と県内大学及び県内美術館の連携
主な取組⑤	展覧会に関連したイベントの開催
主な取組⑥	板谷波山記念館の適正な維持管理

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	28	スポーツの推進
担当課	文化スポーツ課	

目指す姿	市民が、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案				
現状		・市民が楽しくスポーツ活動を行うことができる場として、体育館・運動場など、市民ニーズに対応した各種施設の整備や、学校教育に支障のない範囲で小・中学校の施設の一部の市民への開放を行い、スポーツ活動促進のための学校開放に努めてきました。 ・子どもたちの公式スポーツ大会などは、施設の老朽化もあって他地域で開催されるケースもあり、スポーツ施設の環境は決して十分とはいえない状況にあります。				
課題		・スポーツ少年団数、スポーツ協会加盟団数が減少傾向にあることから、市民の多様なニーズに対応した施策やスポーツ環境づくりに、より一層取り組むことが求められています。 ・子どもたちがスポーツを楽しむ機会の提供や指導者の育成を図るとともに、公式大会が開催できる施設を整備し、スポーツイベントなどの充実やスポーツ施設の効果的な管理運営を行っていく必要があります。				
取組方針	1	スポーツの振興に向け、イベント開催のほか、スポーツ施設の充実化と効果的な管理運営や有効利用を図ります				
	2	生涯を通してスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境整備を進めます				
	3	健康づくりの推進や世代間交流の輪を広げ、スポーツ活動の活性化を図ります				
	4	スポーツ施設のあり方や適正配置などを検討し、将来を見据えた施設整備を目指します				
成果指標						
1)成果指標	スポーツ施設の利用者数	指標単位		人/年		
		現状値	R7 年	335,204		
		目標値	R13 年	360,000		
2)成果指標	ちくせいハーフマラソン大会申込者数	指標単位		人/年		
		現状値	R7 年	2,009		
		目標値	R13 年	2,500		
3)成果指標	「ちっくんクラブ」の登録数	指標単位		団体		
		現状値	R7 年	0		
		目標値	R13 年	50		
主な取組						
主な取組①		スポーツ施設の適正整備				
主な取組②		生涯スポーツの普及促進				
主な取組③		スポーツ活動の支援				
主な取組④		スポーツイベントなどの実施及び支援				

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	29	環境保全
担当課	環境課	
	農政課 生涯学習課	

目指す姿	自然環境と暮らしを調和させ、次世代へ健全な環境を継承する社会を目指します。
------	---------------------------------------

項目	第3次筑西市総合計画 基本計画案	
現状	・自然環境保全に向けて、子どもたちを対象とした環境イベントの開催や、河川水質調査、外来種の動植物に関する注意喚起などを実施してきました。 ・市民団体と連携し、家庭からの排水の水質浄化に関する啓発活動を行うことで地域住民への環境保全意識の向上にも取り組んできました。 ・市営墓地については、広報紙などによる利用促進、施設内の維持管理を実施したほか、協和台原公園墓地の使用料を引き下げることで更なる利用促進を図りました。	
課題	・自然・生活環境を取り巻く課題として、河川の水質悪化や外来動植物の拡散、墓地の管理不全が顕在化しています。「第2次筑西市環境基本計画」に基づき、これらに総合的かつ計画的に取り組むとともに、市民・事業者の環境保全意識を高め、地域全体で保全に取り組む体制づくりが必要です。 ・市営墓地では、無縁墓地の適正管理や老朽施設の修繕・整備を進める必要があることから、広報紙などを活用し、利用促進と承継意識の向上を図ります。	
取組方針	1	河川水質の継続的な監視や地域と連携した河川美化・環境保全活動を推進します
	2	外来種の動植物に関する注意喚起と啓発を図ります
	3	市営墓地の適正な維持管理を進め、利用促進に努めます
	4	経営未実施の森林について、森林環境譲与税を活用し、森林の適切な管理や整備を推進します

成果指標				
1)成果指標	主要河川におけるBOD（生物化学的酸素要求量）の適合率	指標単位		%/年
		現状値	R7 年	83
		目標値	R13 年	100
2)成果指標	地域連携による河川美化・環境保全活動の参加人数	指標単位		人/年
		現状値	R7 年	17
		目標値	R13 年	70
3)成果指標	外来種に関する注意喚起・啓発ページの閲覧数	指標単位		回
		現状値	R7 年	5,384
		目標値	R13 年	25,000
4)成果指標	市営墓地の利用率	指標単位		%/年
		現状値	R7 年	74.14
		目標値	R13 年	80

主な取組	
主な取組①	主要河川における水質監視
主な取組②	地域連携による河川美化と環境保全活動の実施
主な取組③	外来種の動植物に関する注意喚起・啓発の実施
主な取組④	市営墓地の利用促進
主な取組⑤	老朽化した市営墓地施設の整備・修繕
主な取組⑥	森林管理の意向調査の実施

第 3 次筑西市総合計画 基本計画案（施策シート）

基本目標	いつまでも安心なまち	
施策	30	脱炭素社会
担当課	環境課	

目指す姿	二酸化炭素排出量実質排出を削減し、持続可能で豊かな暮らしを支える循環型社会を目指します。
------	--

項目		第3次筑西市総合計画 基本計画案				
現状		・令和2年7月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和32（2050）年度の温室効果ガス実質ゼロを目指して、家庭における省エネ家電への買換、再生可能エネルギー設備の導入、ごみの減量化や資源化を進めてきました。 ・「第2次筑西市環境基本計画」に基づき、市民・事業者と協働し、脱炭素社会の実現に向けた取組を一層推進します。				
課題		・家庭ごみ排出量削減への取組や資源循環の推進、脱炭素化への対応が課題となっています。 ・市民環境団体などと連携し、3 R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進、生ごみ処理機購入補助、ごみ分別アプリなどを活用した情報発信・啓発を進めるとともに、公共施設への再エネ設備・電力の導入、家庭用蓄電池の普及促進を図る必要があります。 ・地域全体で省エネ意識を高め、持続可能な循環型社会の形成に取り組むことが求められます。				
取組方針	1	再エネ設備・電力の導入を進め、温室効果ガスの削減と脱炭素化を図ります				
	2	市民団体や事業者と連携し、脱炭素化と循環型社会の形成に取り組めます				
	3	3 R の推進及びフードロス削減に取り組み、ごみの減量化を進めます				
	4	市民・事業者と協働し、徹底的なリサイクルによる資源循環に取り組めます				
成果指標						
1)成果指標	公共施設における再エネ設備導入件数	指標単位		件		
		現状値	R7 年	10		
		目標値	R13 年	11		
2)成果指標	公共施設における再エネ電力導入施設数	指標単位		施設		
		現状値	R7 年	0		
		目標値	R13 年	5		
3)成果指標	1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量	指標単位		g /年		
		現状値	R7 年	661		
		目標値	R13 年	610		
4)成果指標	資源物のリサイクル率（収集ベース）	指標単位		g /年		
		現状値	R7 年	8.3		
		目標値	R13 年	15		
主な取組						
主な取組①		再生可能エネルギーの活用促進				
主な取組②		環境に関する市民への普及啓発活動				
主な取組③		公共施設における再エネ電力への切替え				
主な取組④		ごみ減量化に向けた 3 R の推進				
主な取組⑤		官民連携によるリサイクルの推進				